

⑩ 給食を楽しく食べるために・・・

どんな状態？

食べ終わるのに時間がかかってしまう。

偏食が多く見られ、友だちからわがままだと思われる。

給食のメニューが気になって落ち着かない。

なぜそうなるの？

偏食とは異なり、味覚、嗅覚、触覚などの過敏性の問題による。

多動や食事のマナーが理解できないために、食事中に立ち歩いてしまったり、合図を待たずに行動してしまったりする。



支援のポイント

- 量を減らし、一口だけでも食べるように促して様子を見る。
- 「味覚や嗅覚は一人一人違うこと」の理解を他の子どもたちにも促す。
- 食材のにおいが気になる場合には、マスクを利用し、においへのストレスを軽減したり、準備の間、読書をさせるなどして注意をそらす工夫をしたりする。

⑪ 時間をまもれるようにするために…

どんな状態？

休み時間終わりのチャイムがなっても、遊んでいる。

熱中している活動を中断できなったり、決められた時間内に終わらせることが難しい。

チャイムの合図や時計を意識していない。

なぜそうなるの？

こだわりが強いため好きなことを中断できず、行動の切り替えに時間がかかる。

いろいろな刺激が多すぎて、集中できない。

時計の見方を理解していない。



支援のポイント

- チャイムが鳴ったら、教師が子どもの所に行って、「終わり」を意識させる。
- 周囲の児童に声かけをしてもらう。
- 活動の見通しを具体的、視覚的に示す。
- 次の活動に移るときに、予告や猶予を持たせる言葉かけをして、気持ちの切替をさせる。
- タイマーを活用して、時間の進み具合を視覚的に理解させる。
- 机の配置を工夫して、刺激を制限する。
- 日常生活の中で、時計を読む機会をつくり、意識させる。

⑫ 細かな作業ができるようにするために・・・

どんな状態？

なぜそうなるの？

プリントがきちんとたた
めない。

手指のコントロールが難しいため、
道具をうまく扱えない。

のり付けやはさみで切る
作業がスムーズにできな
い。

手で触ったときの
感覚が弱い。

着替えに時間がか
かる。

目で見ただけの情報を取り
込んで、手の運動に
変えて表すことが苦
手である。

支援のポイント

- プrintの角に印を付け、そろえて合わせるようにさせる。
- 指先の加減ができない場合には、折り目を少し付けた紙や折り線の書いてある紙を用意する。
- 完成した物を見せて、視覚的にイメージさせる。
- 切る線に色を付けたり、太くしたりする。
- のりの付け方や分量などを絵や図で示す。
- 着替えの手順やたたみ方の手順を表に書いて、視覚的にわからせる。

⑬ 教室から飛び出さないようにするために…

どんな状態？

校舎内を歩き回り、連れ戻してもまた教室を出ていく。

授業に飽きたり、嫌なことがあったりすると、外からの刺激に影響されて飛びだしてしまう。

静かな場所を求めて、校内を歩き回る。

なぜそうなるの？

学校の性質や教室にいなければならない意味が分かっていない。

感覚過敏のため、集団の騒々しさに耐えられなくなって、その場から逃げる。

特定の物や場所へのこだわりがある。

授業の内容を理解できず参加できない。



支援のポイント

- 分かりやすく興味を引く授業を心がけ、できるだけ声かけをする。
- 集団の騒々しさや話し声に過敏になって、神経的に疲れている様子が見られるときは、静かな場所で休ませる。
- 校内の職員に協力してもらい、教室の外に飛び出しているときは、「〇年〇組に戻りなさい。」と声かけをしてもらう。
- 「居場所カード」を黒板に貼ってから、行くことを許可する。
- 教室に居ることができたら、シールを貼るなどして、視覚的に分かりやすい評価をする。
- 教室を飛び出しそうになったら、教師が意図的に用事を頼む。

⑭ 大きな音を怖がらないようにするために・・・

どんな状態？

大きな音がすると、どうしてよいか分からずにパニックになる。

大きな音がすると耳をふさぎ、その場から逃げ出してしまう。

音への反応が極端で、怖がったりすることが、周囲の子どもにとっては、わがままだと非難される。



なぜそうなるの？

音に対して感覚が過敏なため、頭が痛くなったり、教師の声が聞こえなくなったりするような不快感や不安感を覚える。

支援のポイント

- どんな場面で、どんな音を嫌がるのかを把握する。
- 運動会のピストルの音を太鼓の音に替えるなど、代用できる音や方法を活用する。
- できるだけ大きな音を立てずに済むようにしたり、別の部屋に移動させたりする。
- 他の子どもに対して、本人の辛さに共感して、協力してもらえようように説明する。
- 教室を過ごしやすい環境にし、不安をできるだけ少なくする。